

放射能関係のお知らせ

2017年12月1回(A週)

お届け日:2017/12/4~12/8
発行日:2017/11/20



本誌は、カタログ掲載の青果について、2017/11/16(木)午前中までの放射能自主検査の結果をお伝えしています。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況
果実	いちご	品目で検査済
		検査予定
	キウイ	品目で検査済
	みかん	品目で検査済
	ラ・フランス	洋ナシ類で検査済
りんご	品目で検査済	八峰園・ゴールド農園・雄勝・天童・米沢郷・さみず・青木・サンファーム
	品目で検査済	八千代・村悟空・サンド旭・和郷
果菜	きゅうり	品目で検査済
		果菜類で検査済
	スナップえんどう	果菜類で検査済
	トマト	品目で検査済
		果菜類で検査済
ピーマン	果菜類で検査済	
ミニトマト	品目で検査済	
	果菜類で検査済	
大葉	品目で検査済	たまつくり・野菜くらぶ・村悟空・海上・佐原・和郷・南伊豆・遠州
	品目で検査済	谷田部・八千代・埼玉産直・沃土・八街・風土の会
	品目で検査済	谷田部・たまつくり・野菜くらぶ・群馬モグラ・南埼玉・佐原・風土の会
	品目で検査済	谷田部・たまつくり・野菜くらぶ・群馬モグラ・南埼玉・佐原・風土の会
キャベツ	品目で検査済	たまつくり・野菜くらぶ・村悟空・海上・佐原・和郷・南伊豆・遠州
	品目で検査済	谷田部・たまつくり・野菜くらぶ・群馬モグラ・南埼玉・佐原・風土の会
小松菜	品目で検査済	有機農法ギルド・野菜くらぶ・群馬モグラ・南埼玉・佐原・風土の会
	品目で検査済	谷田部・たまつくり・野菜くらぶ・群馬モグラ・南埼玉・佐原・風土の会
サニーレタス	品目で検査済	谷田部・有機農法ギルド・八千代・常総産直・野菜くらぶ・沃土・八街・海上・風土の会
	品目で検査済	和郷
春菊	品目で検査済	夢みなみ・たまつくり・あゆみの会・元気会・うつのみや・レインボー・村悟空・沃土・佐原・サンド旭・八街・和郷・風土の会
	品目で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会・遠州
ターサイ	品目で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会・遠州
	品目で検査済	谷田部・有機農法ギルド・たまつくり・風土の会・遠州
チンゲン菜	品目で検査済	こまち・あゆみの会
	品目で検査済	葉菜野果・沃土・佐原・和郷・遠州
にら	品目で検査済	元気会
	品目で検査済	葉菜野果・野菜くらぶ
ねぎ	品目で検査済	谷田部・たまつくり・沃土・南埼玉・八街
	品目で検査済	常総・有機農法ギルド・やさと・八千代・野菜くらぶ・利根川・村悟空・佐原・風土の会
白菜	品目で検査済	谷田部・八千代・常総産直・野菜くらぶ・八街
	品目で検査済	埼玉産直・有機農法ギルド・風土の会
ブロッコリー	品目で検査済	谷田部・たまつくり・常総産直・八千代・野菜くらぶ・沃土・埼玉産直・南埼玉・村悟空・海上・佐原・サンド旭・八街
	品目で検査済	和郷
ペビーリーフ	品目で検査済	フェニクス・レインボー

分類	品目名	放射能検査の状況
葉菜	ほうれん草	品目で検査済
		葉菜類で検査済
	検査予定	二本松・和郷
	みず菜	品目で検査済
	品目で検査済	
ルッコラ	品目で検査済	
	品目で検査済	
レタス	品目で検査済	
	品目で検査済	
若芽ひじき	品目で検査済	
	品目で検査済	
かぶ	品目で検査済	
	品目で検査済	
ごぼう	品目で検査済	
	品目で検査済	
里芋・海老芋	品目で検査済	
	品目で検査済	
さつまいも	品目で検査済	
	品目で検査済	
しょうが	品目で検査済	
	品目で検査済	
大根	品目で検査済	
	品目で検査済	
長芋	品目で検査済	
	品目で検査済	
自然薯	品目で検査済	
	品目で検査済	
人参	品目で検査済	
	品目で検査済	
にんにく	品目で検査済	
	品目で検査済	
れんこん	品目で検査済	
	品目で検査済	

●青果以外の牛乳・牛肉・卵・食肉類および加工品の対象商品はすべて検査をしています。*酒類はみりんと料理酒を検査対象としています。

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花蕾・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済
エリンギ	品目で検査済
しめじ(ひらたけ)	品目で検査済
なめこ	品目で検査済
ぶなしめじ	品目で検査済
まいたけ	品目で検査済
マッシュルーム	品目で検査済
山えのき	品目で検査済
4種のきのこセット	品目で検査済

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2017/11/15	5.1
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
4種のきのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり	日本の稲作を守る会	2017/10/18	3.1
パルシステムの独自ガイドライン			25
政府の基準値			100

*白米で検査を行ったところ、放射能の検出はありませんでした。

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
399	これにおまかせすき	2017/11/6	3.8
112194	焼きセットのしいたけ		
389	もやしと豚肉のチャン	2017/11/15	5.1
354	ブルーセットのしいた		
341061	け		
392	ひき肉と春雨のオイ	2017/11/15	5.1
353	スターソース炒めセッ		
111309	鶏肉と野菜の治部煮	2017/11/15	5.1
361	風セットのしいたけ		
111317	肉野菜丼ぶりセット	2017/11/15	5.1
363	のしいたけ		
393	ポリウムたっぷりマ	2017/4/24	3.3
-	ーポー春雨セットのし		
391	具だくさんの牛肉き	2017/4/24	3.3
357	んぴらセットのまいた		
	け水煮		
パルシステムの独自ガイドライン			25

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
138	岩手県産乾しいたけ	2017/7/27	5.0
145	(徳用)		
137	岩手県産乾しいたけ	2017/7/27	5.0
144	(どんこ)		
政府の基準値			100

●青果の検査について

*北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県)の本州17都府県のカテゴリ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。
*旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになります。それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。
*検査対象外地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。
*yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

放射能入門講座 終

過去に掲載しました放射能入門講座を一部修正して再掲いたします。

数週間にわたって、入門講座を再掲いたしました。ご質問がありましたので、ご回答いたします。

ラドンの建物からの発生について

Q:「10月1回で「コンクリート等から発生するラドン(木造家屋では少ない)」とありますが、ラドンの発生源にコンクリート等とかかかっているのは日本の事情でしょうか。

確かにコンクリートからも発生するようですが、北米の政府系資料を見ると地下から浸み出してきたラドンが建物のすき間から建物内へ侵入し、建物内へ滞留することが最大の問題であるように書かれています。日本ではそもそも地下にウランが少ないためコンクリートからの発生が相対的に上位になる、という意味でしょうか。」

A:「ラドンは岩石に含まれるラジウムが崩壊して発生する放射性の気体で、岩石・土壌等から発生し、室外より室内で濃度が高く、またコンクリート造の建物は木造より高いことが種々の調査で分っています。しかし、ご質問の地面からの浸出も無視できないと考えられますので、室内の換気の励行と合わせて、床下や地下室の換気はした方がよいと考えます。

例えば、一例として、日本のラドン濃度についての研究は、「屋内ラドンとその健康影響 <http://www.kenkobunka.jp/kenbun/kb24/iida24.pdf>」飯田孝夫氏(名古屋大学大学院工学研究科教授・原子核工学専・健康文化24号1999.6)において、日本のラドン濃度としては、15.5Bq/m³が平均値としており、それに対してヨーロッパの屋内ラドン濃度は51~100Bq/m³のエリアが多くあります。「バックグラウンド電離放射線と小児がんのリスクー最近の研究結果からー」ベン・シュピヒャー氏(ベルン大学社会・予防医学研究所)のスライド14枚目以降に掲載されています。
<http://csrp.jp/csrp2016/images/portfolio/slide/Spycher-J.pdf>

以上のようなことにより、

ラドンは岩石に含まれるラジウムから生成されるため、木造建築物に比べてマンションのようなコンクリート造りで気密性の高い家屋ではコンクリート自体からの発生も含め自然と多めになります。そのため、換気に努めることで被曝を減らすことができます。」

行政検査の検出情報

- 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第1057)」(2017/4/2~2017/10/27で採取・購入された検体検査)より、国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg以上検出された検体です。

チャナメツムタケ(きのこ): 宮城県大崎市 110 Bq/kg
ツキノワグマ肉: 宮城県栗原市 610Bq/kg
イノシシ肉: 宮城県白石市 340Bq/kg

国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された検体上位数点です。

ナメコ: 宮城県大崎市・石巻市 2.9~20Bq/kg
イノシシ肉: 宮城県大崎市・山梨県甲州市ほか 12~67Bq/kg

- 福島県の緊急調査で国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

ムキタケ(きのこ): 福島県金山町・南会津ほか 3~52Bq/kg
里芋: 福島県富岡町 51Bq/kg
ナメコ: 福島県三島町・只見町ほか 3.3~42Bq/kg
シイタケ(原木・菌床): 福島県郡山市ほか 22~27Bq/kg
イワナ: 福島県福島市(阿武隈川水系) 88Bq/kg
ヤマメ: 福島県桑折市(阿武隈川水系)ほか 65Bq/kg
アユ: 福島県伊達市(阿武隈川水系) 34Bq/kg
乾しシイタケ: 福島県下郷市 224Bq/kg

- 国立医薬品食品衛生研究所より発表された検査結果、国の定めた基準セシウム合計100Bq/kg未満で検出された上位数点です。

シイタケ: 茨城県・長野県流通品 4.5~33Bq/kg

山のほとんどが除染を行っていないため、放射能の減衰が自然の状態に任されています。集積しているところと少なくなっているところとがありますが、状況はきちんと把握できていません。

放射能を多く含んだ食品を、知らず知らずに口にしている可能性があります。検査をしておらず、流通している商品が今では多くなっていますので、検査をしているものを選ぶことをお勧めします。

栽培管理を行っていない山で採取した山菜や検査を行っていない山菜は放射能が心配されます。山菜は十分に注意をしましょう。また、ジビエや天然淡水魚も注意が必要です。

11月の放射能検査状況

11月の検査は、10日までで、しいたけより、しいたけ(原木栽培)から3件(5.0、9.7Bq/kg)、お料理セットのしいたけから1件(3.8Bq/kg)の放射能検出がありました。米それぞれの検出数値は基準値以内でした。

乳幼児用食品は、検出下限値を2016年4月から1Bq/kgに下げましたが、現在まですべて不検出です。

放射能検査の状況(検査件数、かつこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	11月	11月の検出内容	11月
青果	23 (0)		卵
しいたけ	3 (3)	原木しいたけより 5.0、9.7Bq/kg しいたけ(料理s)より 3.8Bq/kg	魚介類
その他のきのこ類	0 (0)		飲料水・飲料
米・米飯類	0 (0)		乳幼児用食品
牛乳・乳製品	0 (0)		その他加工食品
肉類	5 (0)		合計
			85 (3)

2017年度の放射能検査の状況(2017年4月~2017年10月)

青果	今年度は青果・果物からの検出はありません。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけが(3.1~15Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	日本の稲作を守る会の玄米(こしひかり)より2件(3.1、4.8Bq/kg)放射能が自主基準内で検出されましたが、白米で検査したところ不検出でした。 8月より2017年産米の検査をスタートし、27産地69検体の検査が終了し、2件検出、その他67件不検出でした。重点産地については各産地より複数の検体を検査を行います。それ以外の産直産地については、一産地一検体で検査を行います。複数の銘柄を出荷している場合でも、一検体となります。 *放射能はぬか部分に多く蓄積するため、玄米で検査をおこなっています。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査し今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。
乳幼児用食品	検出下限値1Bq/kgで検査を行い、すべて不検出です。
その他加工食品	<お料理セット> 野菜と肉を含めて毎月各メーカーごとに1検体の検査を行っています。2017年よりyumyumでの掲載が開始され、検出下限値は1Bq/kgで行っています。菌茸類については毎週検査を行っており、しいたけおよびしいたけ水煮(3.1~11Bq/kg)、まいたけ水煮(3.2Bq/kg)から自主基準内ですが検出しています。その他の菌茸類からの検出はありません。 <大豆加工品> 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、原料で検査を行っているものと、製品で検査をおこなっているものがありますが、放射能は検出されていません。 <乾物> 2017年7月に岩手県産乾燥しいたけ(5.0Bq/kg)から自主基準内で検出がありました。

パルシステムの放射能検査について

● 検出限界について

高性能に放射能を計測できるゲルマニウム半導体検出器を2台導入して計測しています。yumyumおよび赤ちゃん&KidsのOK食品としている乳幼児用食品については、検出下限値を1Bq/kgまで検査しております。

検出限界(セシウム134,137それぞれ)		
2016年4月1日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	3

● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以南の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行いません

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム134,137の合計)	2014年10月より現行基準		国の規格基準
	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳幼児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100	100	

*乾燥食品は生原料や摂取状態で検査します。(単位Bq/kg)

*乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。